

献血のあゆみ

平成30年度版



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

三重県赤十字血液センター

はじめに

平素より、血液事業の推進につきましては深いご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。献血者の皆様方並びに、三重県、各市町及び医療機関、献血協力団体の皆様に支えられ、当三重県赤十字血液センターは開設54年目を迎えることができました。

平成30年度におきましては56,358人(対前年度比101.0%)の献血協力をいただき、県内の医療機関に供給した血液製剤は177,031単位(対前年度比98.5%)で県内における必要な血液製剤を安定供給することができました。

県民の皆様のご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

令和元年度におきましても、東海北陸ブロック7県における広域的な需要予測を踏まえ、県・市町及び各協力団体の皆様とさらに連携を深めながら献血者確保に努めてまいります。

現在、少子高齢化等の社会情勢の変化に伴い、将来における血液製剤の安定確保が大きな課題となっております。そこで、未来の献血基盤となる若年層への献血推進を図る施策として、三重県ならびに三重県教育委員会の協力のもと平成26年度から、高校献血セミナーを実施しております。

平成30年度におきましても高校生の皆様を始め、中学生、大学生、新入社員等の若い世代を中心に16,227人の方々に献血セミナーを聴講していただき、献血、輸血についての知識の普及啓発と献血に触れ合う機会づくりを進めてきました。

その結果、お陰様を持ちまして10代の献血者数は2,095人(対前年度比104.4%)で、前年を90人上回るご協力をいただくことができ、献血を未来に繋いで行く手応えを感じております。

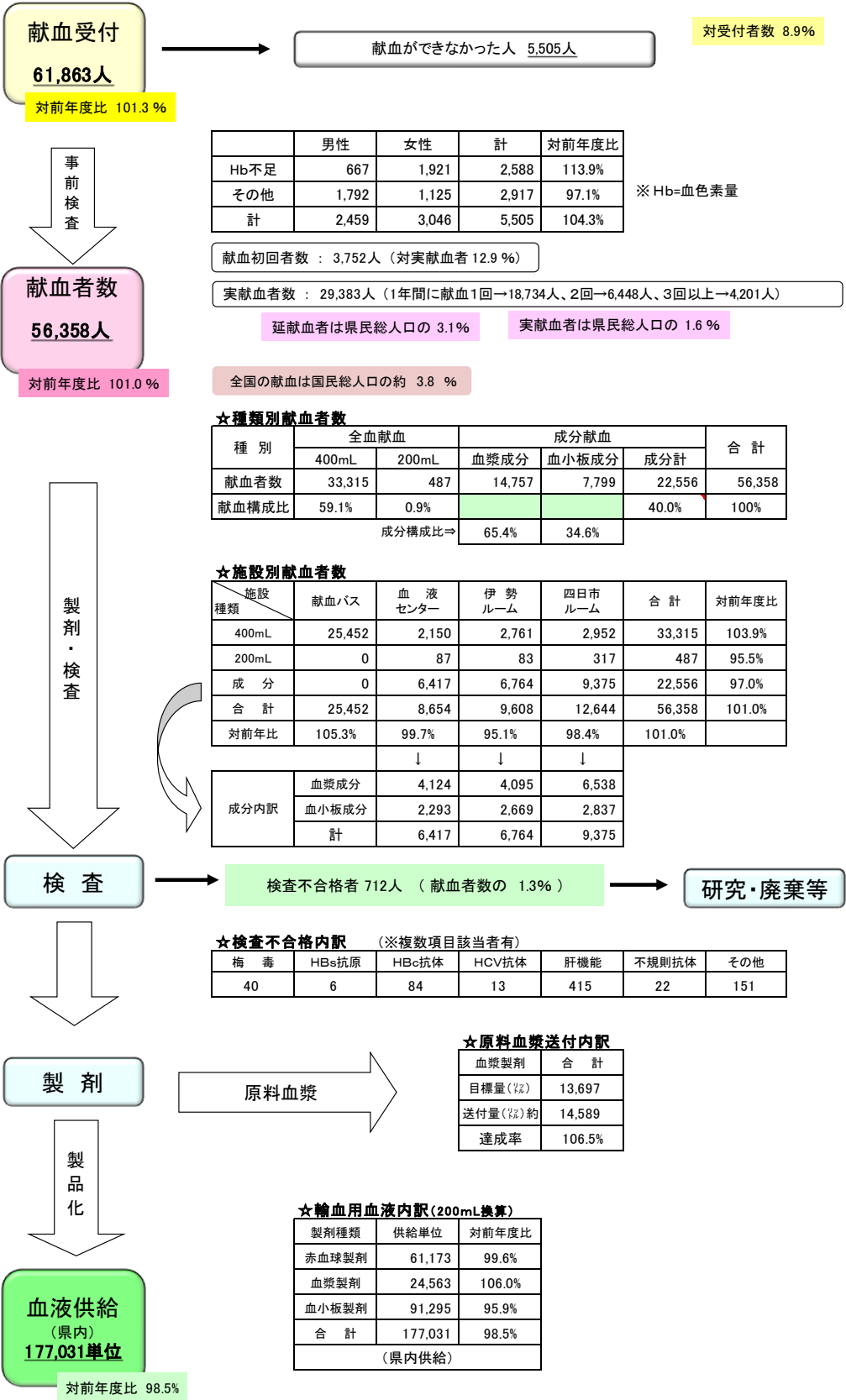
今後につきましても、高等学校や大学での校内献血の推進はもとより、小中学生も対象としたセミナーもさらに拡大し、将来に向けた積極的な取組みを進めていきますので、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月吉日

三重県赤十字血液センター
所長 岡田 昌彦

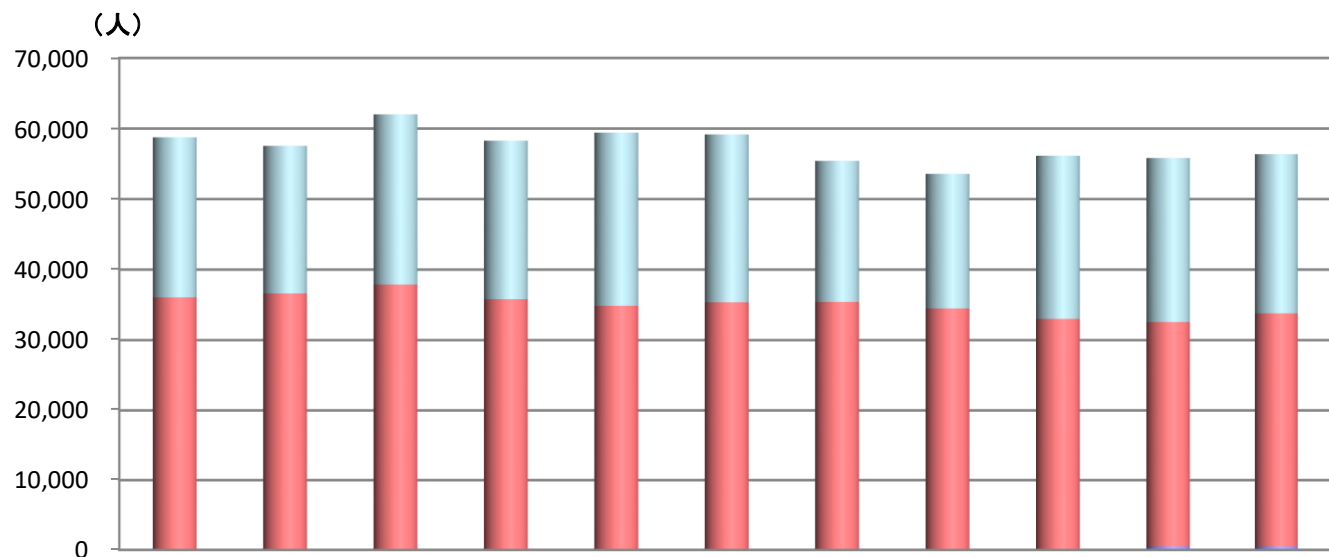
もくじ

「献血から供給まで(平成30年4月～平成31年3月)」	1
「三重県の献血者数の推移」「三重県の輸血用血液製剤供給の推移」	2
「三重県の年代別献血者数」「三重県の400mL献血率」	3
「三重県の市町別献血状況」	4
「三重県の居住地別献血状況」	5
「表彰」	6
「平成30年度のキャンペーン等」	8
「献血の基準」	10
「沿革」	11



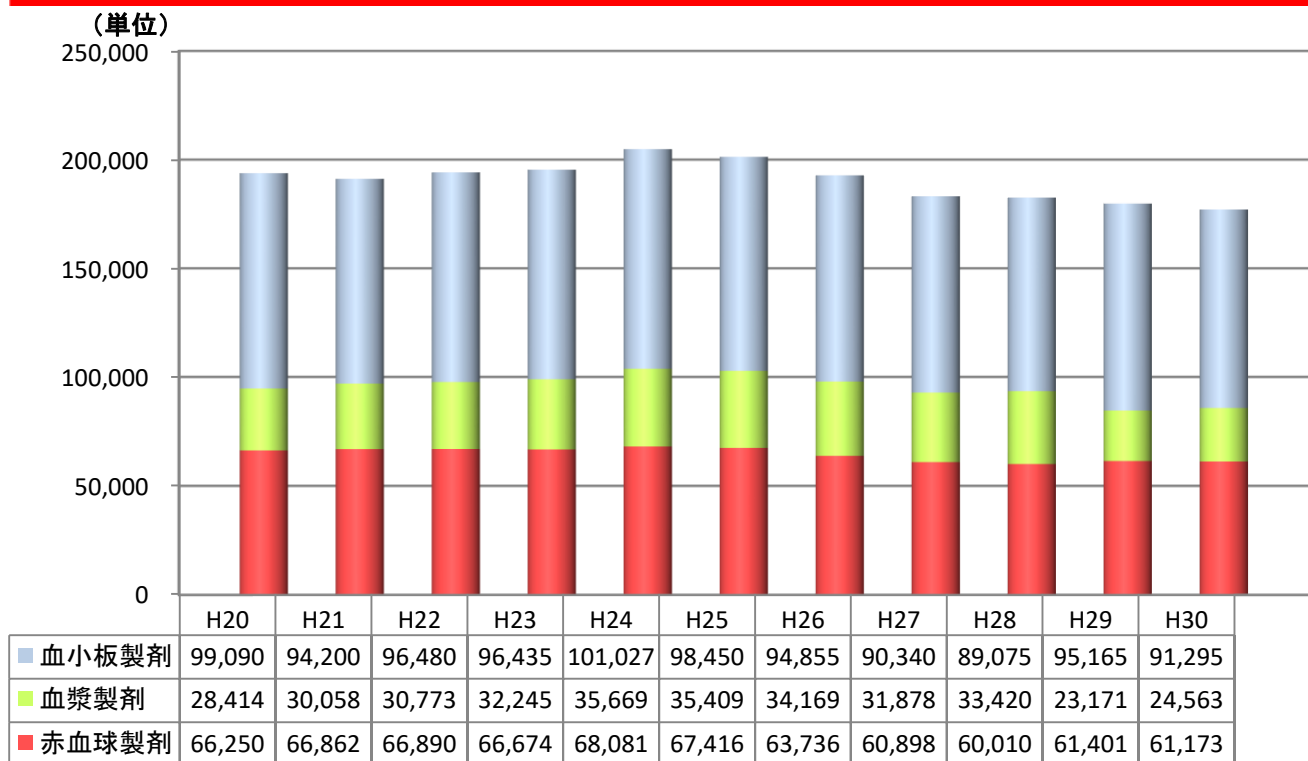
※H29年度から血漿製剤の単位換算は、FFP-LR120を1単位、FFP-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位として算出

三重県の献血者数の推移



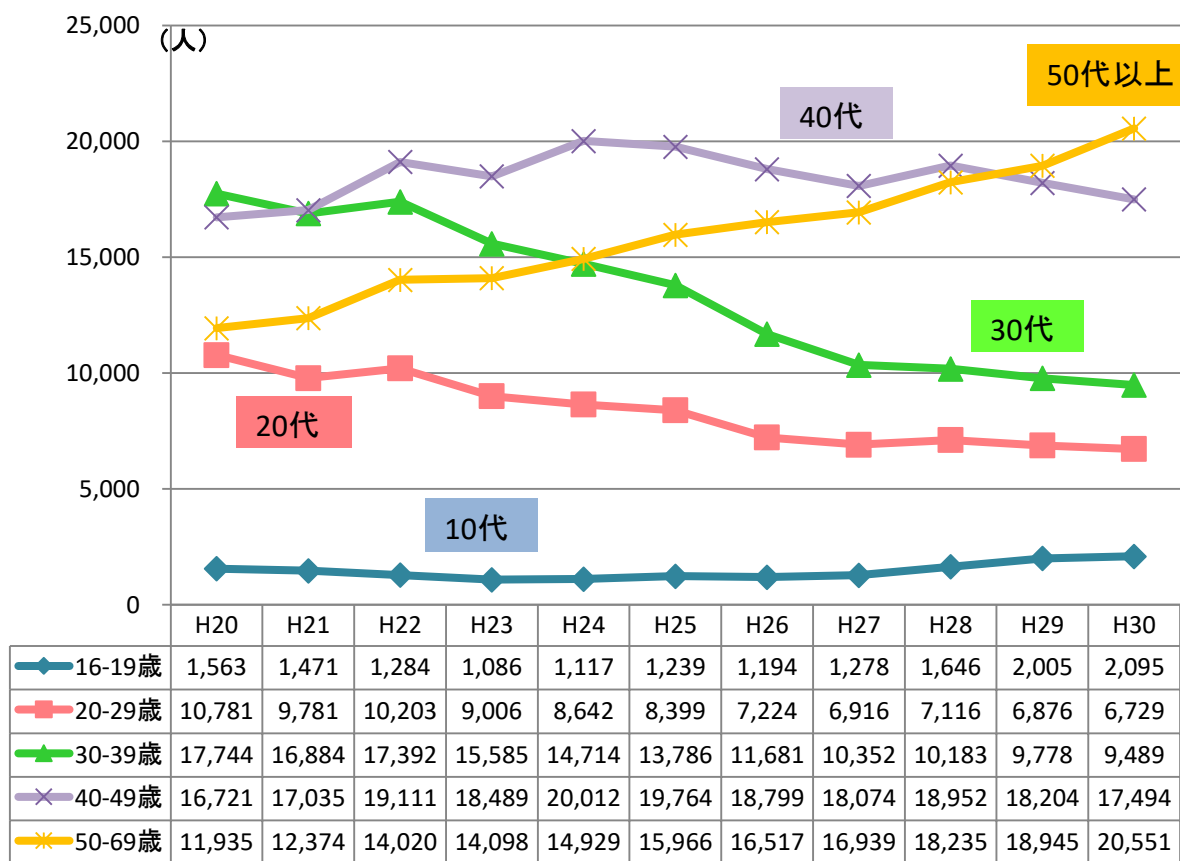
東海北陸ブロック血液センター事業開始

三重県の輸血用血液製剤供給の推移



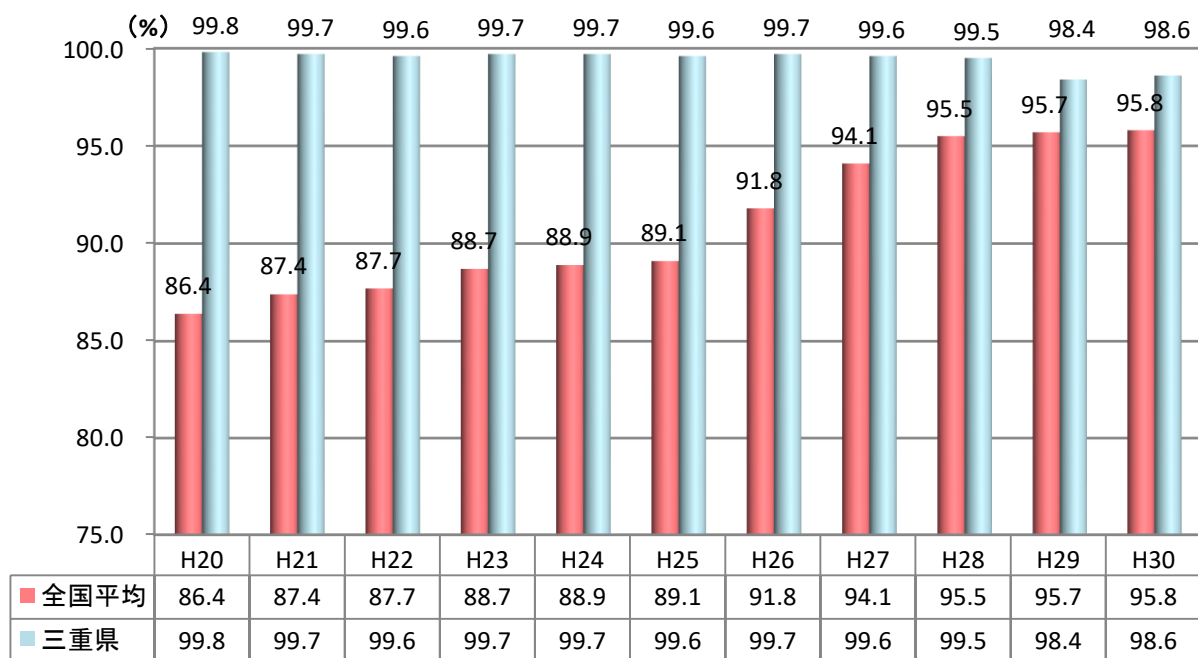
東海北陸ブロック血液センター事業開始

三重県の年代別献血者数



東海北陸ブロック血液センター事業開始

三重県の400mL献血率



東海北陸ブロック血液センター事業開始

三重県の市町別献血状況

平成30年4月～平成31年3月

(人)

市町名		献血者数				稼働数※	1稼働あたりの献血者	献血者対前年比
		400mL	200mL	成分	計			
桑名市		1,682	0		1,682	39.2	42.9	107.9%
いなべ市		731	0		731	15.5	47.2	120.8%
桑名郡	木曽岬町	82	0		82	1.9	43.2	120.6%
員弁郡	東員町	302	0		302	6.7	45.1	73.7%
三重郡	菰野町	434	0		434	10.4	41.7	97.1%
	朝日町	159	0		159	3.7	43.0	92.4%
	川越町	200	0		200	5.2	38.5	95.2%
桑名保健所管内		3,590	0		3,590	82.6	43.5	103.4%
四日市市		4,323	0		4,323	92.5	46.7	96.3%
四日市市保健所管内		4,323	0		4,323	92.5	46.7	96.3%
鈴鹿市		4,463	0		4,463	94.5	47.2	115.5%
亀山市		808	0		808	17.0	47.5	100.4%
鈴鹿保健所管内		5,271	0		5,271	111.5	47.3	112.9%
津市		4,135	0		4,135	90.8	45.5	118.5%
津保健所管内		4,135	0		4,135	90.8	45.5	118.5%
松阪市		2,044	0		2,044	48.0	42.6	92.8%
多気郡	多気町	192	0		192	3.9	49.2	101.6%
	明和町	234	0		234	6.8	34.4	151.0%
	大台町	137	0		137	2.7	50.7	114.2%
松阪保健所管内		2,607	0		2,607	61.4	42.5	97.8%
伊勢市		1,333	0		1,333	34.5	38.6	102.9%
鳥羽市		241	0		241	6.7	36.0	118.7%
志摩市		250	0		250	6.0	41.7	106.8%
度会郡	玉城町	453	0		453	8.7	52.1	92.1%
	度会町	27	0		27	0.9	30.0	81.8%
	南伊勢町	101	0		101	3.0	33.7	98.1%
	大紀町	55	0		55	1.4	39.3	80.9%
伊勢保健所管内		2,460	0		2,460	61.2	40.2	101.3%
伊賀市		1,748	0		1,748	33.4	52.3	105.2%
名張市		539	0		539	12.6	42.8	97.3%
伊賀保健所管内		2,287	0		2,287	46.0	49.7	103.3%
尾鷲市		192	0		192	5.0	38.4	82.4%
北牟婁郡	紀北町	148	0		148	4.0	37.0	96.7%
尾鷲保健所管内		340	0		340	9.0	37.8	88.1%
熊野市		266	0		266	6.0	44.3	138.5%
南牟婁郡	御浜町	77	0		77	2.0	38.5	98.7%
	紀宝町	96	0		96	2.0	48.0	106.7%
熊野保健所管内		439	0		439	10.0	43.9	121.9%
献血数及び配車回数計(バス)		25,452	0		25,452	565.0	45.0	105.3%

血液センター	2,150	87	6,417	8,654	309	28.0	99.7%
四日市ルーム	2,952	317	9,375	12,644	309	40.9	98.4%
伊勢ルーム	2,761	83	6,764	9,608	308	31.2	95.1%
ルーム計	7,863	487	22,556	30,906	926	33.4	97.7%

総 計	33,315	487	22,556	56,358	1,491	37.8	101.0%
-----	--------	-----	--------	--------	-------	------	--------

※稼働数とは、市町では献血バス稼働数、固定施設では開設日数を指す

三重県の居住地別献血状況

平成30年4月～平成31年3月

市町村名		献血者数				構成比※		
		400mL	200mL	成分献血	計	400mL%	200mL%	成分%
桑名市		1,858	22	871	2,751	67.5%	0.8%	31.7%
いなべ市		704	6	339	1,049	67.1%	0.6%	32.3%
桑名郡	木曽岬町	50	0	2	52	96.2%	0.0%	3.8%
員弁郡	東員町	340	10	121	471	72.2%	2.1%	25.7%
三重郡	菰野町	718	33	315	1,066	67.4%	3.1%	29.5%
	朝日町	192	0	149	341	56.3%	0.0%	43.7%
	川越町	277	6	219	502	55.2%	1.2%	43.6%
桑名保健所管内		4,139	77	2,016	6,232	66.4%	1.2%	32.3%
四日市市		5,283	184	5,278	10,745	49.2%	1.7%	49.1%
四日市市保健所管内		5,283	184	5,278	10,745	49.2%	1.7%	49.1%
鈴鹿市		3,781	46	2,019	5,846	64.7%	0.8%	34.5%
亀山市		1,070	12	482	1,564	68.4%	0.8%	30.8%
鈴鹿保健所管内		4,851	58	2,501	7,410	65.5%	0.8%	33.8%
津市		5,207	59	3,952	9,218	56.5%	0.6%	42.9%
津保健所管内		5,207	59	3,952	9,218	56.5%	0.6%	42.9%
松阪市		2,948	18	1,404	4,370	67.5%	0.4%	32.1%
多気郡	多気町	260	1	123	384	67.7%	0.3%	32.0%
	明和町	434	3	505	942	46.1%	0.3%	53.6%
	大台町	184	0	58	242	76.0%	0.0%	24.0%
松阪保健所管内		3,826	22	2,090	5,938	64.4%	0.1%	35.2%
伊勢市		2,752	55	3,621	6,428	42.8%	0.9%	56.3%
鳥羽市		380	2	283	665	57.1%	0.3%	42.6%
志摩市		582	13	602	1,197	48.6%	1.1%	50.3%
度会郡	玉城町	345	2	290	637	54.2%	0.3%	45.5%
	度会町	182	1	159	342	53.2%	0.3%	46.5%
	南伊勢町	188	2	131	321	58.6%	0.6%	40.8%
	大紀町	123	0	72	195	63.1%	0.0%	36.9%
伊勢保健所管内		4,552	75	5,158	9,785	46.5%	0.8%	52.7%
伊賀市		1,583	2	225	1,810	87.5%	0.1%	12.4%
名張市		826	0	97	923	89.5%	0.0%	10.5%
伊賀保健所管内		2,409	2	322	2,733	88.1%	0.1%	11.8%
尾鷲市		220	0	39	259	84.9%	0.0%	15.1%
北牟婁郡	紀北町	180	0	45	225	80.0%	0.0%	20.0%
尾鷲保健所管内		400	0	84	484	82.6%	0.0%	17.4%
熊野市		220	0	18	238	92.4%	0.0%	7.6%
南牟婁郡	御浜町	100	0	13	113	88.5%	0.0%	11.5%
	紀宝町	115	0	18	133	86.5%	0.0%	13.5%
熊野保健所管内		435	0	49	484	89.9%	0.0%	10.1%
県外在住者		2,213	10	1,106	3,329	66.5%	0.3%	33.2%
計		33,315	487	22,556	56,358	59.1%	0.9%	40.0%

※「構成比」は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない

三重県と日本赤十字社三重県支部は、献血運動の一層の推進を目的に「三重県献血功労者表彰式」を開催し、献血にご功労のあった方々を表彰しています。

三重県献血功労者表彰式・・・日時：平成30年8月3日（金）
場所：三重県総合文化センター

厚生労働大臣表彰状…… 2団体

血液事業の推進に関し、過去に大臣感謝状及び知事感謝状を受け、その実績が特に優秀で、他の範と認められる団体又は個人に贈呈されます。

◆カヤバシステムマシナリー労働組合 ◆横浜ゴム株式会社 三重工場

厚生労働大臣感謝状 …… 6団体

血液事業の推進に関し、過去に知事感謝状を受け、その実績が特に優秀で、他の範と認められる団体又は個人に対し贈呈されます。

◆ジャパンマリンユナイテッド株式会社 津事業所 ◆JFEエンジニアリング株式会社 津製作所
◆株式会社 福井 ◆河村産業株式会社
◆松阪市民病院 ◆株式会社第三銀行事務センター

三重県知事感謝状 …… 5団体

献血運動の推進に著しい功績又は血液の確保に多大な功績があった団体又は個人に対し贈呈されます。

◆シーテック労働組合 ◆株式会社フジ技研
◆光洋メタルテック株式会社 本社/上野工場 ◆一般社団法人 三重県損害保険代理業協会
◆東芝メモリ株式会社 四日市工場

日本赤十字社社長感謝状 …… 10団体

金色有功章受賞後、引き続き活動に従事し、その功績が顕著で他の範となるものと認められる場合、当該従事年数が10年に達した都度、贈呈されます。

◆JSR株式会社 四日市工場 ◆NTN精密樹脂株式会社
◆東海コンクリート工業株式会社 ◆JAグループ三重
◆株式会社トーエネック三重支店 ◆近畿大学工業高等専門学校
◆株式会社トウペ 三重工場 ◆株式会社LIXIL 伊賀上野工場
◆株式会社LIXIL 上野緑工場 ◆株式会社 安永

日本赤十字社有功章

金色有功章 …… 5団体

献血活動継続年数20年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆医療法人(社団)大和会 日下病院 ◆富士フイルム和光純薬株式会社 三重工場
- ◆ヤマモリ株式会社 松阪工場 ◆松阪興産株式会社
- ◆松阪中央ライオンズクラブ

銀色有功章 …… 7団体

献血活動継続年数15年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆三重茶農業協同組合 ◆大和ハウス工業株式会社 四日市支社
- ◆国立大学法人 三重大学 ◆株式会社ケーヒン 鈴鹿工場
- ◆株式会社 八神製作所 津営業所 ◆株式会社鳥羽テクノメタル
- ◆松阪花しょうぶライオンズクラブ

日本赤十字社三重県支部長感謝状

支部長感謝状(金枠) …… 6団体

金枠は、過去に銀枠を受け、献血活動継続年数10年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆株式会社 神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 大安製造所 ◆CKD株式会社 四日市工場
- ◆石原産業株式会社 四日市工場 ◆三重県警察本部
- ◆防衛省陸上自衛隊久居駐屯地 ◆松阪看護専門学校

支部長感謝状(銀枠) …… 2団体

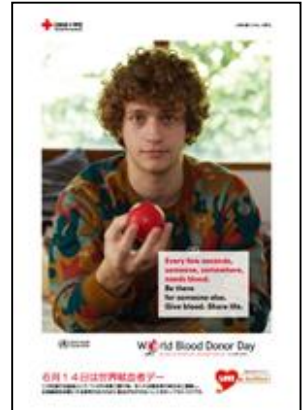
銀枠は献血活動継続年数5年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆石田鉄工株式会社 ◆セントラルグラスファイバー株式会社 松阪工場

平成30年度のキャンペーン等

6月 世界献血者デーキャンペーン

毎年6月14日は「いのちを救う贈り物」をくれる献血者の皆様に感謝するとともに、輸血用血液を必要とする患者様のために献血が欠かせないことを知ってもらう日です。平成30年度の「世界献血者デー」のテーマは、“Be there for someone else. Give blood. Share life. (だれかのための献血を)”でした。献血によって人々がお互いを思いやり、社会的なつながりを持つことを促すことができるという点に注目しています。当センターでも6月14日から6月17日の4日間、固定3施設にてキャンペーンを実施し、期間中の献血者には特別記念品を進呈しました。



7月・8月 愛の血液助け合い運動月間

毎年夏季は、長期休暇などにより学校や企業、団体などからの献血への協力が得にくくなるため、厚生労働省・都道府県・日本赤十字社は、「愛の血液助け合い運動」を展開しています。今年のキャンペーンポスターは、キャンペーンメッセージの「救いたい あなたの未来 私から」をモチーフに、若者が「献血へ行こう！」と弾けるデザインでキャンペーンを周知しました。県内では7月8日から8月20日にかけて県内12カ所で開催し、計591人の協力をいただきました。



6月～10月 第13回「赤十字・いのちと献血俳句」コンテスト

血液センター所長賞 谷水 恵 様

「桜の木 咲くたび思う 弟を」

団体賞 伊勢市立厚生小学校様、私立高田中学校様、
私立高田高等学校様

7月～9月 第7回献血ポスターコンペティション

血液センター所長賞 三重県立桑名西高校3年 佐藤 帆乃佳 様

シンプルなデザインで、ボールの代わりにハートが描かれていて、見る人を優しい気持ちにさせてくれます。また、「今、輸血を待つ患者さんのいのちを繋ぎ、そして献血を未来に繋いでいきましょう」というメッセージが込められた作品です。



12月 全国学生クリスマス献血キャンペーン

若年層の献血の輪を広げ、冬季における輸血用血液の安定確保を目的とした全国学生クリスマスキャンペーンを実施しました。

・第1回目

12月9日(日)イオンモール津南にて開催しました。

当日は津市のイベントも開催され各市町のゆるキャラが会場に集合しました。(当日の献血者数:50名)

・第2回目

12月16日(日)にイオンモール鈴鹿にて開催しました。

三重県学生献血推進協議会の協力でバルーンアート等の催しを行いました。(当日の献血者数:61名)

・第3回目

12/23(日)ショッピングセンター松阪マームで開催しました。(当日の献血者数:42名)



1月～2月 「はたちの献血」キャンペーン

このキャンペーンは昭和50年(1975年)からスタートし、献血者が減少しがちな冬期において献血者の確保をするため、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民各層に献血運動を盛り上げていくことを目的としています。今年のキャンペーンメッセージは、「あなたがいなければ、つukれないもの。」でした。キャンペーンキャラクターは「乃木坂46」の新成人メンバー5人を迎え、1月1日から2月28日の2ヶ月間キャンペーンを行いました。



3月 キッズ献血

3月24日(日)にイオンモール津南にてキッズ献血を開催しました。幼少期から献血に親しみをもちてもらうことを目的として3歳以上の子ども達を対象に献血の模擬体験を実施しました。実際の献血さながらに問診や血圧測定を受けたり、検診や採血など一連の流れを体験することで献血の大切さについて啓発を行いました。また、参加者には同モール内の一部店舗でサービスを受けられる「キッズ献血カード」を進呈しました。



献血の基準

献血いただく方の健康を守るために、さまざまな基準を設けています。

献血方法別の採血基準

献血の種類 項目	全 血 献 血		成 分 献 血	
	200mL献血	400mL献血	けっしょう 血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下 (循環血液量の12%)	
年 齢	16歳～69歳 ^{※1}	男性:17歳～69歳 ^{※1} 女性:18歳～69歳 ^{※1}	18歳～69歳 ^{※1}	男性:18歳～69歳 ^{※1} 女性:18歳～54歳
体 重	男性:45kg以上 女性:40kg以上	男女とも 50kg以上	男性:45kg以上 女性:40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域にある女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
血小板数	—	—	—	15万/μL以上
1年 ^{※2} に献血できる回数 (1年は52週として換算)	男性:6回以内 女性:4回以内	男性:3回以内 女性:2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
1年 ^{※2} に献血できる 総献血量 (1年は52週として換算)	200mL献血と400mL献血合わせて 男性:1,200mL以内 女性: 800mL以内		—	—

(三重県内では、200mL献血は固定施設のみで、10代の方限定とさせていただきます。)

献血の間隔

今回の献血 次回の献血	全 血 献 血		成 分 献 血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血※3
200mL献血	男女とも4週間後の同じ曜日から献血できます	男性は12週間後・女性は16週間後の同じ曜日から献血できます	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます	
400mL献血				
血漿成分献血				
血小板成分献血		男女とも8週間後の同じ曜日から献血できます		

採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

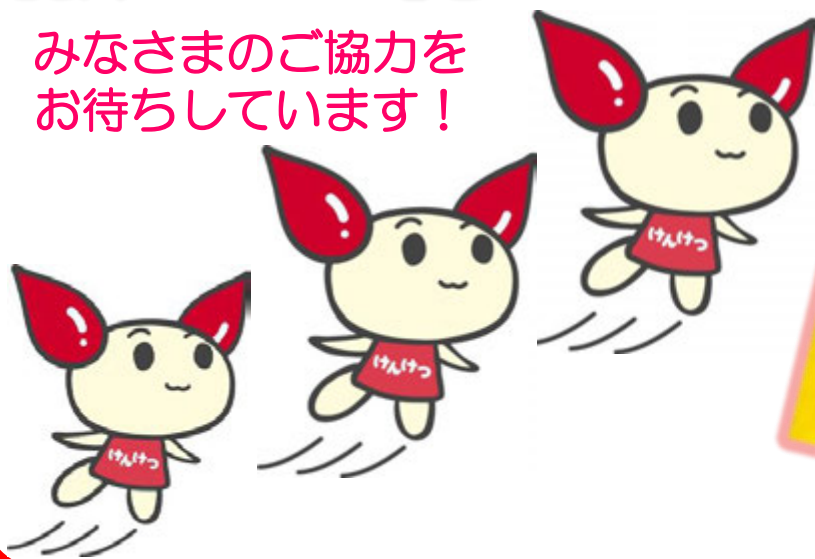
※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

※3 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

昭和39年08月	輸血用血液は、献血により確保することを閣議で決定
昭和39年12月	三重県献血推進協議会発足
昭和40年01月	伊勢市御園町810番地山田赤十字病院内に三重県赤十字血液センター開設
昭和40年07月	津市塔世109番地1に移転
昭和43年09月	津市栄町1丁目171番地三重県合同ビル内に移転
昭和43年12月	日本赤十字社名誉副総裁 高松宮妃殿下が三重県赤十字血液センターをご視察
昭和44年06月	四日市市塩浜町1番地三重県塩浜病院内に三重県赤十字血液センター四日市出張所開設
昭和47年04月	HBs抗原(B型肝炎)検査開始
昭和51年08月	三重県赤十字血液センター四日市出張所廃止
昭和59年08月	津市桜橋2丁目191番地に三重県赤十字血液センター新築移転
昭和59年11月	三重県内献血者累計100万人達成
昭和61年10月	AIDS及びHTLV-1(エイズ及び成人T細胞白血病)抗体検査開始
昭和62年01月	400mL献血及び成分献血開始
平成元年12月	HCV抗体・HBc抗体・HBs抗体検査開始
平成02年10月	山田赤十字病院内に献血ルーム「ハートワン」開設
平成04年09月	赤血球MAPの製造および供給開始
平成04年09月	中部近鉄百貨店四日市店内に献血ルーム「サンセリテ」開設
平成05年03月	HIV-2(エイズウイルス2型)抗体検査開始
平成05年11月	三重県内献血者累計200万人達成
平成06年07月	日本赤十字社名誉副総裁 皇太子同妃両殿下が三重県赤十字血液センターをご視察
平成06年07月	第30回献血運動推進全国大会が三重県で開催
平成07年04月	赤血球MAPの有効期限が42日間から21日間へ短縮
平成08年09月	血液検査用検体の凍結保存を開始
平成09年08月	三重県献血キャラクター 愛称「ミドナ」発表
平成09年08月	ヒトパルボウイルスB-19検査開始
平成10年06月	放射線照射血液製剤の供給開始
平成11年04月	献血年齢の上限が条件付きで64歳から69歳に延長
平成11年10月	ウイルス(HBV、HIV、HCV)を直接検出する核酸増幅(NAT)検査開始
平成11年11月	HTLV-1抗体検査陽性者へ結果通知を開始(通知希望者のみ)
平成14年07月	近鉄四日市駅前スターアイランド4Fに献血ルーム「サンセリテ」移転
平成15年04月	HBc抗体検査陽性者への結果通知を開始(通知希望者のみ)
平成15年06月	血液製剤適及調査開始
平成15年07月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
平成15年08月	血液製剤受注管理システム導入
平成16年10月	検査目的の献血防止対策の一環として献血受付時の本人確認の実施
平成16年10月	血小板血液製剤の白血球除去を開始
平成17年08月	6ヶ月間(180日間)貯留保管した新鮮凍結血漿を供給開始
平成18年03月	成分献血由来の新鮮凍結血漿血液製剤の白血球除去を開始
平成18年06月	三重県内献血者累計300万人達成
平成18年10月	献血者健康被害救済制度を開始
平成19年01月	初流血除去対応採血キットの導入
平成19年01月	全血採血由来保存前白血球除去キットの導入
平成19年05月	検査部門を愛知センターに集約化
平成19年11月	血小板血液製剤の有効期限が72時間から4日間に延長
平成20年04月	感染症検査をCLA法に変更
平成21年03月	糖尿病関連検査(グリコアルブミン検査)のサービス通知開始
平成21年04月	製剤部門を愛知センターに集約化
平成23年04月	男性のみ400mL献血可能年齢を18歳から17歳に緩和
平成23年04月	男性のみ血小板献血可能年齢を54歳から69歳に引き上げ
平成24年02月	ミタス伊勢に献血ルーム「ハートワン」移転
平成24年04月	東海北陸ブロック血液センター事業開始(広域体制化による製造検査等集約化)
平成24年10月	シャープガス病に対する安全対策の実施開始
平成25年01月	「献血の同意説明書」を配布し、同意有無の確認を開始
平成26年08月	個別検体によるNAT(個別NAT)スクリーニングを導入
平成27年01月	三重県赤十字血液センター開設50周年
平成29年02月	献血ルーム「ハートワン」5周年記念式典を実施
平成29年02月	イオンモール東員にて「LOVE in Actionプロジェクト」ご当地イベントの開催
平成29年03月	成分採血の血漿採取量の上限を600mL以下に変更

献血に行こう!!

みなさまのご協力をお待ちしています!



三重県内の献血ルームのご案内

三重県赤十字血液センター



〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目191番地

TEL 059-229-3582
0120-05-5632

【受付時間】《全血》9:00~11:45/13:00~16:30

《成分》9:00~11:00/13:00~16:00

【定休日】土曜、年末年始

【交通】JR・近鉄津駅から徒歩約10分

【駐車場】有（庁舎1階フロア）

伊勢献血ルーム 「ハートワン」



〒516-0008 三重県伊勢市船江1丁目471-1

ショッピングセンター「ミタス伊勢」内 TEL 0596-25-7821
0120-25-7821

【受付時間】《全血》10:00~11:45/13:00~17:30

《成分》10:00~11:00/13:00~17:00

【定休日】金曜、年末年始

【交通】JR・近鉄伊勢市駅から徒歩約15分

【駐車場】有（ミタス伊勢内）

四日市献血ルーム 「サンセリテ」



〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町6番地4号

近鉄四日市駅前「スターアイランド」4F TEL 059-355-5863
0120-39-5863

【受付時間】《全血》10:00~11:45/13:00~17:30

《成分》10:00~11:00/13:00~17:00

【定休日】火曜、年末年始

【交通】近鉄四日市駅から徒歩3分

【駐車場】有（くすの木パーキング、近鉄百貨店駐車場）※駐車券をご提示ください